

## 市立城崎文芸館のリニューアルオープン

～ 2016.10.18 KINOBU OPEN ～

城崎温泉ゆかりの作家に関する展示を行っている城崎文芸館は、1996年（平成8年）のオープンから今年20周年を迎えた。このメモリアルイヤーに際し、今秋、新たに展示内容等をリニューアルする。

また、このリニューアルに先駆け、城崎文芸館のWEBサイトも新しくオープンした。

### 1 城崎文芸館リニューアルオープン

#### (1) 日時

10月18日（火） 午前9時～

※ 入館料は一般500円、中高生300円（小学生以下無料）

#### (2) ロゴマーク



#### (3) 主なリニューアル内容

##### ア パブリックスペースの設置（無料）

###### (ア) イベントホール

誰でもいつでも気軽に集える場所として開放する。

###### (イ) 第1展示室

城崎の温泉の歴史を展示する。

##### イ 有料展示室の観覧ルートを一本化

###### (ア) 第2展示室

定期的に城崎と縁のある企画展を開催する。

≪ 第1回企画展 ≫



#### 企画展「<sup>まきめまなぶ</sup>万城目学と城崎温泉」

**ア 期間** 10月18日（火）～  
平成29年5月7日（日）


**イ 場所** 城崎文芸館 第2展示室


**ウ 入館料** 必要

###### (イ) 第3・4展示室

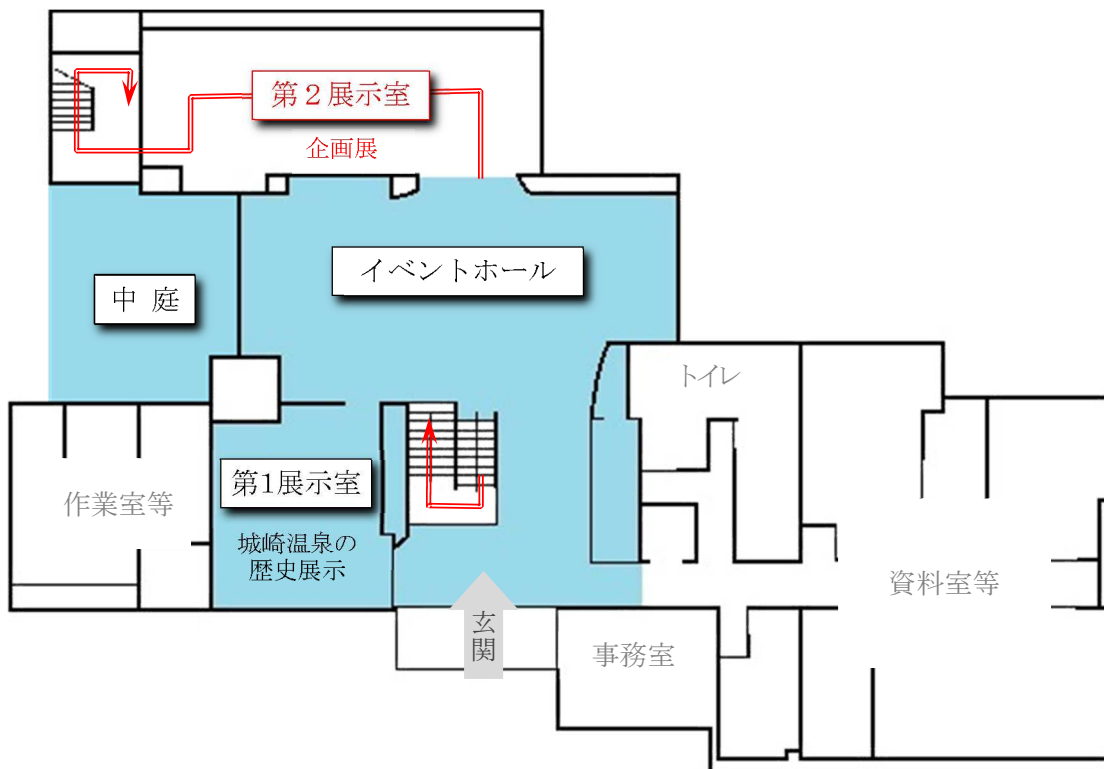
より深く<sup>たの</sup>論しく文学に親しんでもらえるような展示内容に変更する。

(4) 平面図

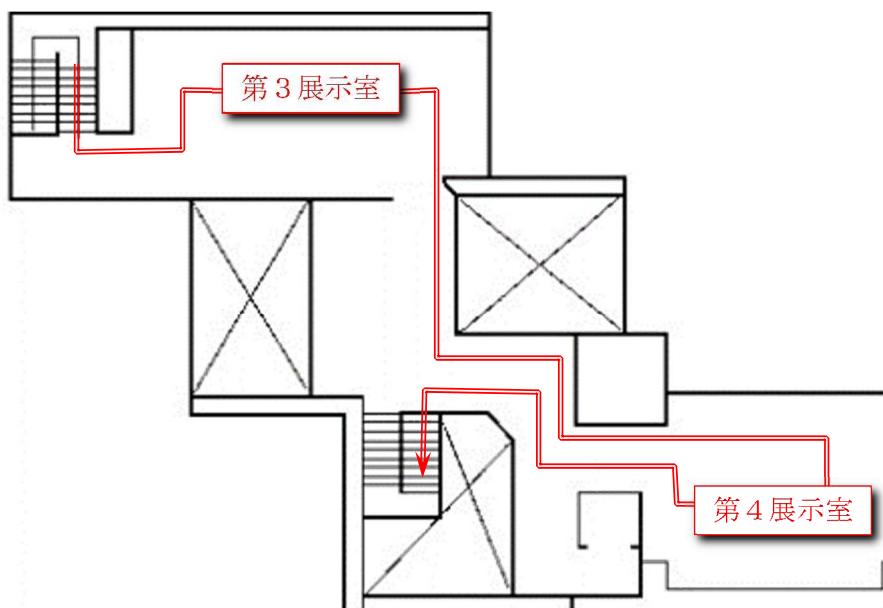
 : パブリックスペース (無料開放)

 : 有料展示室の観覧ルート

ア 1階



イ 2階



## 2 WEBサイトのオープン

城崎文芸館のリニューアルに先がけ、9月18日にWEBサイトをオープンした。

## 3 リニューアル記念特別トークイベント

### (1) 万城目学×湊かなえ「城崎対談」

城崎温泉に関わった2人の作家が、温泉と文学の関係や制作の裏側について語るトークイベントを開催する。

#### ア 日時

10月18日(火) 午後7時30分～(午後7時開場)

#### イ 場所

城崎文芸館

#### ウ その他

申し込みが先着100人に達したため募集は終了した。



## 4 事業主体等

### (1) 事業主体

豊岡市

### (2) 運営主体

城崎温泉観光協会

## 5 その他

### (1) 改修工事

#### ア 期間(※休館)

9月20日(火)～10月17日(月)

#### イ 企画・工事費

1,290万円

### (2) リニューアル内覧会

#### ア 日時

10月17日(月) 午前11時～(報道関係者)  
午後1時～(城崎文芸館関係者)

## ◀ 参考 ▶

### 1 リニューアルスタッフ

#### (1) 企画 : (有)パツハ

未知なる本を手にしてもらう機会をくるため、本屋と異業種を結びつけたり、企業ライブラリーの制作を行っている。代表は幅 允孝<sup>はば よしたか</sup>で城崎地域プロデューサー。城崎文芸館と以下の業種を結び付け、リニューアル計画を企画した。

#### (2) 空間構成・家具計画 : (株)E & Y

インテリアとプロダクトを軸としたデザインエディターとして国内外のデザイナーの作品をプロデュースしている。城崎では、リニューアルした三木屋旅館のロビーや館内の家具を製作。

#### (3) アートディレクション : (株)スーパデザイン

雑誌や書籍、写真集、カタログエディトリアルデザインから展覧会や店舗のグラフィックデザインなど幅広く活躍。『R25』や旅雑誌の『TORANSIT』のアートディレクションも行っている。

#### (4) 映像インスタレーション : (株)ライゾマティクス

デザイン、アート、建築、数学、工学など、様々なバックグラウンドを持つ個性豊かなメンバーからなるクリエイター集団。リオオリンピックの閉会式のAR演出も担当。

#### (5) WEB ディレクション : 谷戸正樹

『WIRED』日本版のWEB サイトのアアートディレクション・デザインをはじめ、メディアやブランドなどのWEB サイトの構築やブランディングに多く携わり、NPO 法人『本と温泉』のWEB サイトも手掛ける。

〔問合せ〕 豊岡市城崎振興局地域振興課地域振興係 TEL 0796-21-9065  
城崎温泉観光協会（城崎文芸館） TEL 0796-32-2575



(新) WEB サイト

城崎文芸館リニューアル・オープン

2016.10.18



あたらしく生まれ変わります。

Twitter Like+1 Facebook Share

小説家 志賀直哉が海苔のたまり城崎温泉を訪れたのが1913年。途中の出来事を書いた『城崎の晩』(1917年発行)は、志賀直哉を代表する傑作として今なお多くの人に読み継がれています。また、白樺派を中心とする多くの文芸家を訪れたことから、いつしか城崎温泉は「歴史と文学の湯のまち」として知られるようになりました。

城崎温泉街の真ん中に立ち、城崎温泉ゆかりの作家に支える展示を行う『豊岡市立城崎文芸館』は、1986年のオープンからもう20周年を迎えました。このメモリアルイヤーに際し、展示内容をリニューアル。城崎を訪ねる旅人や地元の人に、より深く楽しく文芸に親しんでもらえる施設へと生まれ変わります。

リニューアル記念 特別トークイベント

## 万城目学 × 湊かなえ 「城崎対談」

リニューアル・オープンを記念してトークイベント「万城目学×湊かなえ「城崎対談」」を開催いたします。リニューアル後、第1回目の企画展で紹介する万城目学と城崎温泉のNPO法人「木と温泉」に作品を寄きおろした湊かなえ。城崎温泉に暮らった二人の作家が、温泉と文藝の関係や、創作的活動について語ります。お二人の対談対談は本報紙。ぜひお楽しみください。

【日時】平成28年10月18日(火) 19時30分～(開催19時)  
【料金】大人500円、中学生300円(小学生150円)  
【会場】城崎文芸館  
【定員】豊岡市立城崎文芸館207号(座席約30名(申し込み50名))  
【申し込み】  
先着100名(お申し込み)。参加費に事前のお申し込みが必要です。  
(会場からご参加の方) Poatixをご利用の上、お申し込みください。  
(郵送でお申し込みの方) Poatixまたは電話でのお申し込みが可能です。  
電話受付：城崎文芸館 (0796-32-2575/9時～16時30分)

Poatixから申し込む

城崎文芸館 第1回企画展  
2016年10月18日(火)～10月25日(月)  
万城目学と  
城崎温泉



住所：豊岡市豊岡市城崎町湯島3057-1  
アクセス：JR山陰本線豊岡より徒歩30分  
電話：0796-32-2575  
FAX：0796-32-3005  
開館時間：9時～17時  
休館日：豊岡市立文芸館(数日の場合は表示)。年末年始  
※休館日は変更になる場合がございます  
©2016 10/20～10/17 豊崎園芸株式会社

リニューアル企画：(株)バツの  
空間構成・家具計画：(株)AY  
アートディレクション：(株)スノーデザイン  
映像インスタレーション：(株)ライゾムティクス  
WEBディレクション：役員直刷  
企画主体：豊崎園  
運営主体：山崎園芸観光協会

城崎文芸館